



からしだね

2013年
10月号 (487号)

キリストの受難
カトリック池田教会

共同宣教司牧: 畠 基幸神父・染野治雄神父
協力司祭: デニス・マックゴワン神父
住所: 〒563-0041 池田市満寿美町9-26
TEL : 072-751-2400 FAX : 072-753-4624
URL(ホームページ) :
http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/



巻頭言	2	ガラスケースの言葉	2
円ブリオ基金	3	財務委員会から	3
典礼委員会から	3	初めての方への対応マニュアル	4
日曜学校キャンプ	5	中高生会 夏遠足	6
北摂地区大会・合同堅信式 ..	7	集合写真	8
ドレミの会 夏の遠足	8	からしだね俳壇	9
宝塚黙想の家から	10	表紙写真説明	10

表紙写真: イスラエル カナの婚礼教会 撮影: 延原泰子

※ 聖堂入り口で配布しているものからの抜粋版です
完全版をご希望の方は、お近くの広報委員までお問い合わせください

巻頭言 2013年9月15日 年間第24主日説教より

回 心

染野治雄神父

今日のテーマは回心です。心を回すと書いて回心です。単に、失敗したり悪いことをした時に反省するという意味ではありません。心を神さまの方に向ける。自分中心の生き方から神中心の生き方へと、心の在り方を変えるということです。これが回心です。

イエスは「一人の罪びとが悔い改めれば、神の天使たちの間に喜びがある」とおっしゃいます。悔い改めはイエスの中心的メッセージです。じっさい、イエスは宣教の始めに「悔い改めて福音を信じなさい」とおっしゃいました。自己中心を離れて、神に立ち返りなさいという呼びかけです。

わたしたちが神に立ち返ることができるのは、それに先立って神さまのほうからの働きがあるからにはほかなりません。神さまは羊飼いが見失った羊を探しに出てゆくように、どこまでもわたしたち迷える人間を探しに出て行きます。どんなに逃げて、一人ひとりをごきまでも追いかけてきます。そして見つければ、無理やりにでも担いで連れ戻そうとされます。神さまが一人ひとりの人間を探し求める心はそれほどのものです。もちろん、人間のほうでも神さまの所に戻ろうという気持ちがなければ戻れないのですけれど、わたしたちは神さまに担がれていながら足をじたばたさせているのかもしれない。

とにかく、神さまは、このように、一つのところに留まっておられる方ではありません。いつもご自分から出て行き見失った人を探し続けておられます。そして、一人の人がご自身のもとに立ち返れば、そこに大きな喜びが生まれます。神は永遠無限の完全無欠のお方です。何一つ足りないものがないはずで、それにもかかわらず、失った者を探し続けています。不思議なことですが、確かに神さまはいつも失われたものを探し続けておられます。そして、それを見つけたときに大きな喜びを持たれるのです。

今日の福音にも、喜び、という言葉が何度も出てきています。今日のテーマは、むしろ神の喜びと言ってもいいかもしれません。イエスが罪びとと食事をしているのは失ったものを見つけた喜びからです。しかも苦勞して見つけた喜びです。ファリサイ派のあなたたち、この喜びがわからないのか。律法を忠実に守っているあなたたちは偉い。悪人ではない、むしろいい人だ。それなのに、人の罪をあげつらうことに汲々としているあなたたちには喜びがない。そんなしかめ面していてなにが面白いのだ。そんなところでうじうじしていないで、こちらに出てきなさい。一緒に食べよう。イエスが望まれるのはみんな一緒に喜んでほしいことです。

わたしたちは、迷える羊であり、また見つけ出された羊でもあり、また羊を探しに出る羊飼いでもあります。どんな立場にあっても、心を開いて出て行くこと。小さな自分から出て、神さまのもとに立ち返ることです。誰とでもイエスと共に喜んで神の食卓を共にすること。これが回心の恵みです。神さまがそうであるように、わたしたちも心を開いて自分から出てゆくことです。神さまはそれを望んでおられます。そこに、わたしたちの生きる喜びがあり神さまの大きな喜びもあるのです。

10月のガラスケースの言葉

神は愛です。
愛のうちにいるものは神のうちにおり、
神もその人のうちにおられます。

(ヨハネ第1の手紙4：16)



円ブリオ基金への協力に感謝

円ブリオ基金の4回目を8月25日で締め切りましたところ、3,378円が集まりました。8月28日にNPO法人円ブリオ基金センターに送金済です。これまでの募金合計は20,795円にもなりました。

これからも続けていきます。皆様の小さな善意が、小さな命の救いの一助となっています。1回1円で結構です。御協力の程宜しくお願い致します。

募金箱は、聖堂入り口の机の上に毎日曜日おいています。

円ブリオ基金趣旨賛同者 箕面教会 若林なおみ
池田教会 松下良博

財務委員会から

★7月度の光熱費

電気代 108,908円

ガス代 8,481円

★8月度の光熱費

電気代 138,793円

ガス代 6,852円

水道代 33,062円

《直近1年間の光熱費の推移》

7月度は全体が前年比+9%でしたが、前月からは電気代は微増、ガス代も金額的に減っています。

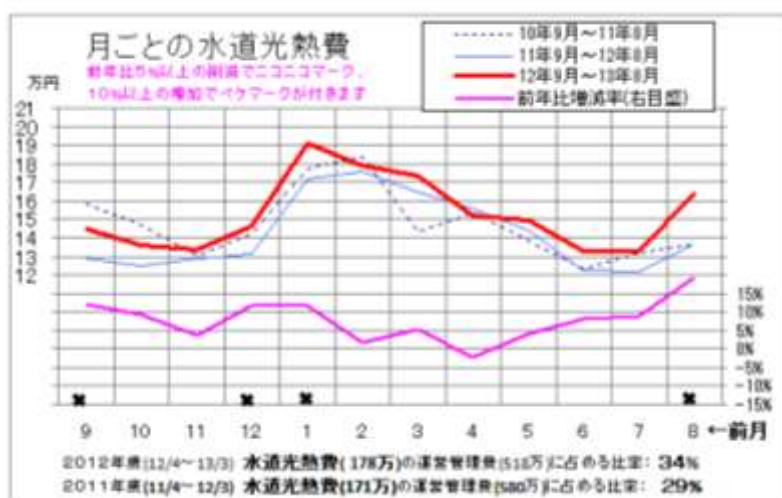
猛暑が早くから始まったことを思うと、皆様が頑張ってくださったのだと思います。

しかし、8月度の電気代は8月度としては2010年以降最高額となり、光熱費としては昨年対比+19%と増加率としては過去最悪となりました。

電気料金の値上げ、猛暑とダブルパンチを食らったこともあり、致し方ないとは思いますが、やはり節電に心がけることがまず大切だと思います。

カール記念館使用団体の皆様にも、節電・節水へのご協力を改めてお願いしたいと思っております。

これからも、皆様のご協力をよろしくお願いいたします！



典礼委員会から

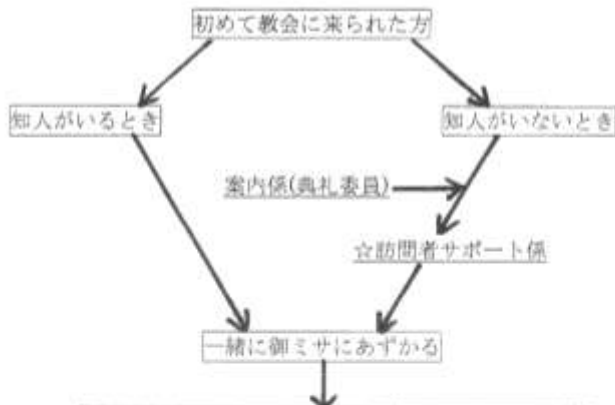
10月はロザリオの祈りの月です。

8：45にマリア像の前に集合し、一緒にロザリオ2連を唱えましょう。

初めて教会に来られた方への対応マニュアル

6月16日の信徒総会にて、今年の活動方針として、初めて教会に来られた方のサポートをあげましたが、そのマニュアルを下記に掲載いたします。
 ミサ時などに初めて来られた方にお気づきになられた時は、ぜひ福音宣教委員にお声かけ
 よろしくお願ひ致します。
 (福音宣教委員会 中路)

初めて教会に来られた方、新規転入者等に対する教会側の対応マニュアル



お知らせの時間

(1) 自己紹介 (氏名、住所、教会訪問の動機)

(2) その地区の人は全員起立
(仲間がたくさんいることのPR)

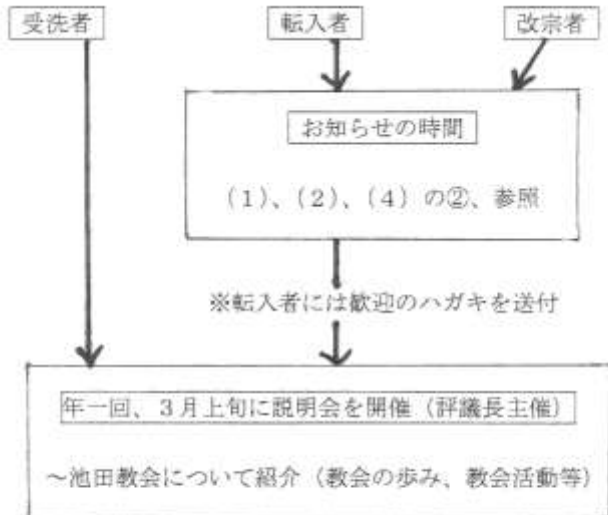
(3) アンケート用紙の配布、記入

(4) ①初めて教会へ来られた方 (冊子)
 ②池田教会紹介 (冊子)
 →これらを読む

知人、サポート係が応援

- (1) 教会内の施設案内
- (2) おしゃべりコーナーへの誘導

以降はサポート係がフォロー



☆池田教会訪問者サポート係

(福音宣教委員) 松下良博・村嶋伸子・中路ますえ	(典礼委員) 小杉春生
-----------------------------	----------------



日曜学校キャンプ (7月29-30日)



池田・日生教会合同中高生会 夏遠足 (8月7日) 猛暑の京都へ行ってきました！

今年例年のキャンプにかわり遠足を企画したところ、池田、日生両教会から11名の中高生の参加がありました。

朝、梅田に集合し京都へ向かい、中高生の希望が多かった「京都水族館」を見学した後、島田さんのご紹介で、溝部 脩司教様が西陣教会の敷地内に青年の集いの場としてむすばれた「望洋庵」を訪問し昼食、司教様のお話を伺い、その後河原町教会を見学し、新京極商店街、錦市場を散策して帰路に着くというコースです。

染野神父様、石戸、大原の引率で中高生達は京都に到着。「京都水族館」ではイルカショー等を思い思いに見学しました。一方、子供達と同時に出発した島田、柴田は「望洋庵」へ先回りしてお台所を拝借して昼食作りをして、皆の到着を待ちました。

水族館の見学を終え汗びっしょりで「望洋庵」に到着した中高生達を、溝部司教様、スタッフのシスター永田（シスター永田は長崎で染野神父様と同じ職場におられ、それ以来の再会でした！）、夏休みを利用して、福島県の白河教会から司教様のお手伝いに行っていた渡邊陽子さん、福音(ふくね)ちゃん母娘が笑顔で、迎えてくださいました。司教様、シスター、渡邊さん、福音ちゃんも皆一緒に楽しく昼食をいただいた後、溝部司教様からどのような思いと目的で「望洋庵」を開かれたかというお話をうかがいました。

昭和初年に建てられた西陣教会の聖堂も見学させて頂き、再会を誓って記念撮影の後、河原町教会へ向かって出発しました。



河原町教会では「都の聖母の小聖堂」に入らせて頂き、染野神父様から「都の聖母像」が作られた時代背景、日本のキリスト教迫害時代の殉教者達の話がヨーロッパで感動を呼び、再び京都の地に宣教者が入れる日が来ることを願ってフランスで聖母子像が作られ、日本に運ばれ、東山の將軍塚に埋められ6年後の1879年に掘り起こされ、1890年に河原町教会に安置されることとなったというお話をうかがいました。

土の中で日本のために祈り続けた聖母子像にふさわしい小さいながらも心が落ち着く小聖堂の中で、街の賑わいや暑さを忘れて静かなひと時を過ごしました。

河原町教会を出てからはすっかりリラックス気分。新京極商店街でみやげ物店や八つ橋屋さん立ち寄り、誠心寺(和泉式部寺)、錦天満宮を経て錦市場を散策。錦市場の中のお餅屋さんの甘味処でおぜんざい、かき氷、きな粉餅、パフェ・・・など皆それぞれに注文し、猛暑で奪われたエネルギーを補給して幸せな気分を一日を締めくくりました。暑かった～！でも楽しかった～！次回の遠足はどこへ行きたいかな？

(文責 柴田)





北摂地区大会・合同堅信式 (9月16日)

池田教会からは、
17人の方々が、
松浦司教様から
堅信を受けられま
した。



※9月22日の主日のミサで、
受堅証明書とお祝いの記念品
が授与されました。



集合写真 (9月8日)

9月16日の北摂地区大会の教会紹介パネルを作成するため、ミサ後に撮影しました。



ドレミの会 夏の遠足 (8月10日)

外に出るのも気の進まない、酷暑の夏！総勢40名、バスや車に分乗して恒例の日帰りバーベキュー遠足に出かけました。能勢の山はさすがに涼しく、心地よい風に救われる思いでした。熱い火を囲んで美味しい肉にビールに、笑顔いっぱい！楽しい会話も生まれます！食事の後はゲームやスイカわり～楽しい一日を過ごしました！





からしたけ俳壇

松本善一

三味の音漏れくる路地や金木犀
濁流の鉄路を洗ふ秋去水

大西多子

秋思かなテレビ高音のこの齡よかい
肌かゆをたぐり寄せはる夜秋

馬場とよ

白秋や心の陽のうすほこり
落書書きのやうな顔して八月尽

原田寛子

指揮棒の先より秋の末てありぬ
草々の光るしおくや秋時雨



亀甲泰子

夕闇に秋蟬しゅうせんの声拾ひけり
鰯雲日々遠くなる父の声

毒井ひろ子

元気がと残り者見舞の見慣ぬ字
夏ばてや何かと疑い深くなり

仲和子

墓石のまば新しき秋蝶未
友の瘡いん信じて祈る聖母マリア

山尾純枝

大夕焼 苗てふ名のま皇女みて
信われは征きて帰らぬ雲



宝塚黙想の家から 黙想会のお知らせ

私たち、キリスト者に与えられている宝は、神のみことばである聖書です。黙想の家では、毎月みことばを深く味わう集いを行っています。宝は大事にしたいですね。

■ 日帰り黙想会

10月24日(木) 10:00~15:30

指導：山内十束神父

費用：3,300円

10月25日(金) 10:00~15:30

指導：山内十束神父

費用：3,300円

■ 国井神父黙想会 (右記参照)

※ 申し込みは、黙想の家まで
TEL. 0797-84-3111

十 主の平和

祈ることが難しいと感じる時があります。神を信じる民はいつの時代にも困難の中でこそ神の救いを信じてきました。バッハもその一人でした。彼はどのようなイエスの姿を見ていたのでしょうか。どのようなイエスを曲に刻み込んだのでしょうか。国井神父と共に、バッハの曲に耳を傾け、イエスの姿を見つめてみましょう。

イエスの姿 — バッハをとおして味わう—

日時：10月26日(土) 14:00

~27日(日) 16:00

指導：国井健宏神父

場所：宝塚黙想の家

費用：8,800円(指導料含む)



表紙写真説明：

イスラエル カナの婚礼教会

ナザレの近郊にある、カナの婚礼教会の地下には、そこから出土した大きな石の水がめや葡萄酒作りの石臼が展示してあって、イエス様の奇跡に思いを馳せることができます。

ゲッセマネの園のオリーブの木のうち、数本は樹齢千年とも2千年とも言われますが、まだ緑の葉をつけています。

(延原泰子)



編集後記

仲秋の名月。今年はまだ一い満月が高い所にありました。

さて、今日は月見団子を作って、すすきを用意して、いざ準備。息子は幼稚園で教えてもらった歌を口ずさみながら嬉しそうに、すすきをゆらゆらさせて商店街を歩きます。家に着くやいなや、はりきってエプロンを着けて白玉粉をこねて、まるで泥遊び。あちらこちらに飛び散らせながらも満足げです。茹であがったお団子に小豆をのせて出来上がり。「これはお月さまを観ながら食べましょ。」と約束したものの…暗くなる前に眠ってしまった息子よ。残念。

次の朝、おいしそうにお団子をほおぼるのでした。

(あー)